

目標2 歴史・文化・暮らしの魅力をいかす

2025年の姿

日々の暮らしに息づいた、板橋ならではの新たな観光スタイルが確立されています。観光滞在を通じ、歴史や文化を感じながら、街道文化によりはぐまれた人情味あふれる人々との出会いや四季を感じることができる環境が整っています。

また、暮らしに憩いや潤いを与える緑あふれる環境、施設などの整備・機能強化が図られるとともに、多文化を理解しあい、ともに発展していく魅力的なまちとなっています。

取組の方向性

板橋区のめざす観光は、有名な観光地を訪れるのではなく、何気ない普段着のまま歩くことのできる、日々の暮らしを体感する観光です。

そのため、時間的なつながりをいかしながら、現在の板橋をはぐくんできた歴史や文化に磨きをかけ、日々の暮らしの魅力を高める取組を進めていきます。

また、交流都市を含む国内外の都市との連携を深め、多様な文化に対する理解をはぐくむことで、暮らしやすい社会の実現に取り組んでいきます。



磨く × 交流

国内外の交流都市との連携・文化交流



各種の協定を締結している国内外の都市に加え、「特別区全国連携プロジェクト」を通じた自治体との連携・協力により、交流人口の増加を図る取組を実施します。

また、ホームステイ、ホームビジット事業の充実による海外交流都市との交流促進や、姉妹都市との文化交流を推進し、互いの文化を理解し、心地よく暮らしていける社会の実現に取り組んでいきます。

創る × デザイン

高島平プロムナード



高島平地域ランドデザインの先導プロジェクトとして、高島平プロムナードの形成に向けた、高島平緑地の再整備を行います。緑地と道路、沿道の敷地を一体的にデザインし、歩きたくなる、憩いたくなる緑豊かなプロムナードとすることで、様々な地域活動やにぎわいを生み出します。

創る × 暮らし

東板橋公園周辺の環境整備



東板橋体育館に植村冒険館を複合化し、スポーツ・健康・冒険・緑といった要素が融合した人とひととのふれあいが生まれる拠点として整備します。

また、こども動物園を新たなにぎわいと憩いの場として再整備を行うことで、幅広い世代の方々が、文化・余暇活動を楽しむことのできる環境づくりに取り組みます。

伝える × 歴史

街道文化・歴史をいかした観光



江戸四宿の一つである板橋宿に関わる観光資源を再整理し、新たなストーリーを構築するとともに、品川宿、千住宿、内藤新宿を合わせた四宿や起点である日本橋、交流協定を締結している日光市と連携した観光プログラムを推進します。

また、旧加賀藩前田家の下屋敷を有していた歴史をいかし、都内に位置する上屋敷や旧前田家本邸及び友好交流都市協定を締結している金沢市と連携した観光促進を図ります。